平成２８年７月１５日

第５学年保護者の皆様

利府町立菅谷台小学校
校　長　千葉　幸江

宮城県学力･学習状況調査の結果とその活用について

盛夏の候，保護者の皆様におかれましては，ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて，４月に実施いたしました宮城県学力・学習状況調査の結果が先頃届きました。今回の結果を受け，学校としては，良い所をさらに伸ばしながら，十分に理解していない学習内容については，課題を明らかにし，繰り返し学習させることで，更なる定着を図っていきたいと考えております。

本日，お子さんを通して，個人カードを配布いたしましたので，ぜひご確認ください。また，ご家庭での学習の参考にしていただければと思います。

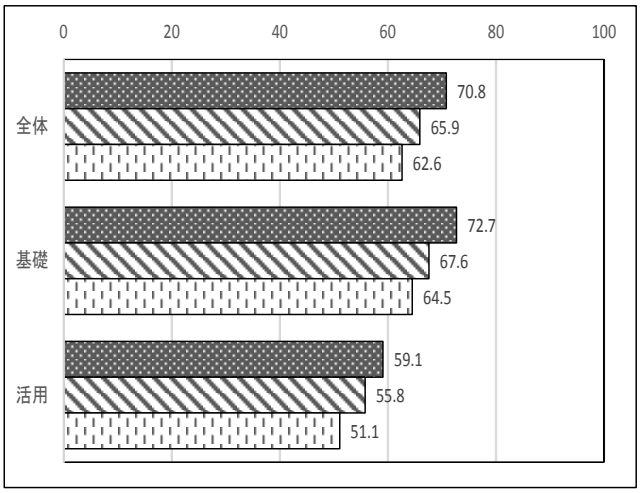
１　学力調査の結果

（１）全体の傾向

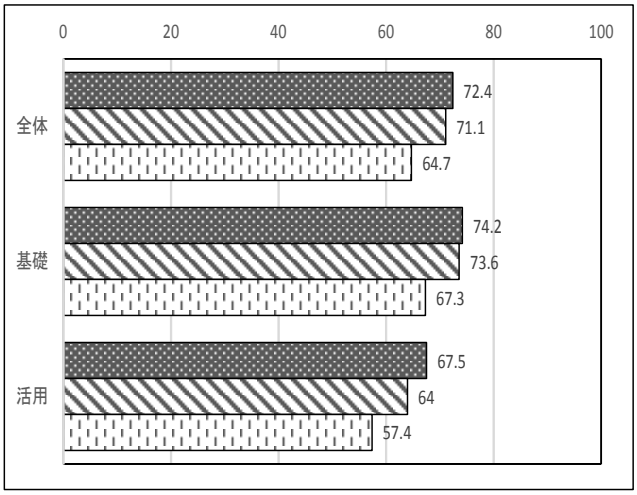
・　国語においては，宮城県の平均正答率を８．２ポイント上回っています。基礎問題で８．２ポイント，活用問題で８ポイント上回っており，良好な結果であると考えられます。

・　算数においては，宮城県の平均正答率を７．７ポイント上回っています。基礎問題で６．９ポイント，活用問題で１０．１ポイント上回っており，良好な結果であると考えられます。

【国語の正答率】



【算数の正答率】



菅谷台小　利府町　宮城県

（２）教科ごとの傾向

【国　語】　　◇：良好な点　◆課題

◇　物語において叙述を基に，登場人物の気持ちや場面の情景を読み取り，まとめることができるなど，文章を豊かに読み取る力が身に付いています。

◇　作文を書くとき，段落の構成を考えながら，文章を書く力が身に付いています。

◆　目的に応じて資料を読み，分かったことを的確に書くことや，文の定義の理解，文と文のつながりを考えながら，接続語を使って内容を分けて書くことに課題が見られました。

【算　数】　　◇：良好な点　◆課題

◇　数と計算領域において，数の仕組みをよく理解しており，整数や小数の相対的な大小を判別ことができていました。

◇　図形の領域において，四角形の特徴を理解しており，図形の作図や，特徴をもとに図形をグループ分けすることができていました。

◇　数量関係の領域において，表や折れ線グラフの読み方をよく理解していました。

◆　数と計算の領域において，小数の問題において，立式することや計算することに課題が見られました。

２　学習状況調査（生活習慣や学習に関する意識・実態調査）の結果から

（１）全体の傾向

全６７項目の質問項目を宮城県の第５学年の児童の結果と比較し分析しました。

その結果，本校第５学年児童は，基本的な生活習慣が確立されており，自己肯定感が高く，将来の夢や目標をしっかりもって，失敗を恐れず挑戦したり，最後までやり遂げたりする気持ちが育まれていることが分かりました。

また，家庭生活では家族との関わりが，学校生活では教師との関わりが，それぞれ良好であり，そのことが学習への意欲の向上にもつながる要因の一つになっているとも考えられます。

一方で，平日や休日，テレビやＤＶＤ等の視聴の時間がやや長く，自分の趣味にかける時間が短いことが分かりました。

学習においては，予習や復習に積極的に取り組んでいることが分かりました。反面，昨年度の５年生でも課題になった「読書」に関しては，平日休日とも宮城県の平均より読書する時間が短いことも分かりました。

（２）よい傾向（顕著なものを掲載しました）

◇　自分にはよいところがあると感じている。

◇　平日に家の中で最も時間をかけているのは，家庭学習であり，学校の授業の予習をしている。

◇　授業では，自分たちで課題を見つけて，解決するために情報を集め，話し合ったり，発表したりする学習に取り組んでいる。

３　今後の取組

Step １　授業を充実させ，学習意欲と学力の向上を図ります。

・　利府町授業構築の３つの柱「１　本時のねらい・目標の明確化」「２　児童が活躍できる授業」「３　板書の構造化とノートの活用」を意識した授業を展開します。

・　学習の有用性の感じられる，分かる，楽しい授業になるように努めることで，学習意欲を向上させ，学力の向上にもつなげていきます。

・　算数では，少人数指導やTT指導を継続して行い，個に応じた学習を進め，理解を確実にしていきます。

Step ２　のびのびタイムを活用し学習内容の定着を図ります。

・　放課後の活動の時間(のびのびタイム)を活用し，授業で課題が見られた問題を繰り返し学習したり，学習したことをさらに理解が深められるようにしたりするなど，個に応じた学習を進めていきます。

Step ３　学習環境を充実させます。

・　教室や学年の学習コーナーを活用して，学習の跡が残る掲示に努めるとともに，学力調査で課題となった内容や普段の学習の振り返りを掲示して，学習の日常化を図ります。

Step ４　家庭と連携し，「家庭学習の習慣」を定着させます。

・　学校では…自分学習のメニューを紹介したりテーマを与えたりして，より一層の充実を図ります。

・　家庭では…生活時間を見直し，「学年×１０分以上」の家庭学習を継続します。

４　個人票の見方

（１）　教科別の結果

国語と算数の正答率（%）について，児童（あなた）と県平均，期待値（全国的な水準で期待すべき想定平均正答率を任意に設定した参考値）が示されています。県平均や期待値をおおよその目安として，お子さんの頑張りや課題について話し合う際の材料としてください。

（２）　問題の内容別の結果

国語と算数それぞれの問題の内容別に，お子さんの正答率を表しています。△については，内容が十分に身に付いていないところです。正答率グラフの右に「学習のアドバイス」が載っていますので，家庭学習で取り組む内容のヒントとしていただければと思います。

（３）　観点別の結果

国語と算数について観点別に結果が示されています。レーダーチャートを見ると，どの観点がよくできているか，どの観点に課題があるかが分かります。

（４）　解答正誤一覧

裏面に各問題に対する正誤の結果が一覧で示されています。本日一緒に配付しました問題と照らし合わせ，復習のヒントとしてください。